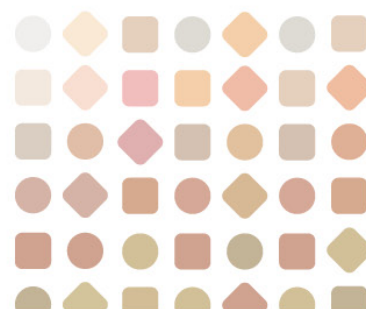




クイックスタートガイド

Portfolio™



コピーライト

© 2010 Extensis, a division of Celartem, Inc.

本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensis の書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

Extensis は Extensis の商標です。Extensis のロゴ、Font Vault、Font Sense、Portfolio、Portfolio Server、Suitcase、Universal Type、Universal Type Client、Universal Type Core は Extensis の商標です。Portfolio NetPublish、NetPublish、Universal Type Server、Type

Server は Extensis の登録商標です。Celartem、Celartem, Inc.、Celartem のロゴは、Celartem, Inc. の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、Photoshop、PostScript、XMP は Adobe Systems, Incorporated の商標です。Apple、Mac、Macintosh、Mac

OS、Bonjour、Xsan は、米国およびその他の国における Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、Windows、Windows Vista、Windows XP、SQL Server

は Microsoft Corporation の登録商標です。Intel は Intel の登録商標です。Java、Java Powered ロゴ、MySQL

は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。Quark、QuarkXPress は、Quark Inc. の商標です。IBM® DataMirror® は International Business Machines

Corporation の商標または登録商標です。OpenOffice.org

は米国で登録商標および保護されています。その他全ての商標は各社が所有しています。

オンデマンドイメージング、ビデオ変換と処理は MediaRich®

プラットフォームで実行されています。MediaScript、MediaRich は Automated Media Processing Solutions, Inc., dba Equilibrium の商標または登録商標です。Copyright © 2004-2010. All Rights Reserved. 米国特許番号 6,792,575、6,964,009、他の特許は申請中です。

Extensis は、製品の購入日より 30 日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品を Extensis から直接購入し、30 日以内に障害が発生した場合、ディスクを Extensis に返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前に Extensis で登録する必要があります。販売店から購入した Extensis 製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensis は、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



目次

コピーライト	2
Portfolio 9.5によるこそ	4
このガイドについて	4
セットアップの概要	5
Set Up Portfolio Server	6
既存のカタログからのアップグレード	6
Portfolio Serverのシステムの必要条件	7
はじめにインストール	8
ファイアウォールのポートを開ける	9
Portfolio Serverのインストール	9
Portfolio Server Admin	10
シリアル番号を入力する	11
カタログを作成する	11
ユーザーを追加する	12
Set Up the Desktop Client	13
デスクトップクライアントのインストール	13
デスクトップクライアントからカタログを開く	13
デスクトップクライアント内の管理機能	14
その他	15
Set Up the Web Client	16
ウェブクライアントの設定	16
ウェブクライアントからカタログに接続する	16
Using Portfolio	18
アセットをカタログに登録する	18
アセットにアクセスする	19
アセットを管理する	21
連絡先	22
Extensis	22
Extensis ヨーロッパ	22
カスタマーサービス	22
ドキュメントについてのお問い合わせ	22
技術サポート	23
電話によるサポート	23

Portfolio 9.5によるこそ

Portfolioは簡単に設定できる

デジタルアセット管理とメディア配信ソリューションです。一カ所で管理をすることで、Portfolioはデジタルアセットの管理と配信に必要なすべてのコントロールを行うことができます。Portfolioカタログはマーケティングや画像管理、ウェブオンデマンド用のコンテンツに簡単に利用できます。

このガイドについて

このガイドでは、サーバー&クライアントからなるPortfolioコンポーネントの基本的な設定について説明しています。ここでは一般的な設定の説明のみを行っています。ユーザーやハードウェア、他のオプションの設定も必要になると思います。

Portfolio

Serverを導入する前に、あなたのワークフローでどのようにデジタルアセットを管理したいのか考えておかれることを強くお勧めします。設定例やサーバーのオプションについては、Portfolio Server Adminガイドを参照してください。

セットアップの概要

ここでは、Portfolio ServerとPortfolioデスクトップクライアントの設定ステップを紹介しています。

- 1. システム要件を確認します。**

サーバーとデスクトップクライアントをインストールするシステムが、システム要件を満たしていることを確認してください。
- 2. サーバーにその他に必要なソフトウェアをインストールします。**

サーバーにはQuickTimeがインストールされている必要があります。Portfolio上で対象となるドキュメントを扱えるようにするために、OpenOffice.org officeとAdobe DNG Converterをインストールします。Portfolioでは、Microsoft Word、Excel、PowerPointドキュメントのインデックス化およびプレビュー作成にOpenOffice.orgを利用します。またDNG ConverterはCamera Raw画像をAdobe Digital Negative (DNG) フォーマットに変換します。

Macintosh ユーザー: これらのソフトウェアをインストールするときは、Portfolio Serverをインストールして利用するのと同じアカウントにログインしてインストールする必要があります。
- 3. ファイアウォールの設定**

もしサーバーと、接続したいユーザーの間にファイアウォールがある場合は、Portfolio Serverがクライアントソフトウェアとコミュニケーションできるように、ファイアウォールにいくつかのポートを開ける必要があります。もしファイアウォールがサーバー上にある場合は、ポートを開けてサーバーにアクセスできるように設定します。もしファイアウォールが自分のネットワークとインターネットの間にある場合は、ポートを開けて、ネットワークの外部からサーバーにアクセスできるようにする必要があります。

Portfolio Serverをインストールする前に、必要なポートが開いていることを確認してください。
- 4. Portfolio Serverをインストールします。**

Windows ユーザー:
Windowsユーザー：ドメインユーザーアカウントオプションか、ローカルシステムアカウントオプションのどちらを利用する必要があるかを決めておきます。

Macintosh ユーザー: Portfolio Serverをインストールするとき、OpenOffice.orgとAdobe DNG Converterソフトウェアをインストールしたのと同じアカウントにログインしていることを確認してください。
- 5. Portfolio Serverのシリアル番号を入力します。**
- 6. カタログを作成します。**
- 7. ユーザーを追加します。**

Portfolioユーザーアカウントを作成して、各ユーザーのカタログに対するアクセス権を設定します。
- 8. クライアントに必要な他のソフトウェアをインストールします。**

ウェブブラウザを使ってアクセスする場合は、Adobe Flash Playerがインストールされている最新のブラウザバージョン (Firefox、Safari、Internet Explorer) を利用する必要があります。デスクトップクライアントはオーディオやビデオファイルの再生にQuickTimeがインストールされていることが必要です。
- 9. Portfolioデスクトップクライアントをインストールします。**

サーバーに一度に接続できるユーザー数に制限がある場合でも、クライアントソフトウェアは必要な数だけインストールすることができます。
- 10. クライアントからサーバーに接続します。**

ネットワークが動いていることと、クライアントアカウントが適切なアクセス権を持っていることを確認してください。

Set Up Portfolio Server

既存のカタログからのアップグレード

以前のバージョンのPortfolioからアップグレードする場合には注意点が多くあります。ここではアップグレード時にもっともよくある問題点を紹介しています。このガイドやPortfolio Server Adminガイドを良くお読みいただき、Portfolio Serverや他のコンポーネントの正しいインストールを行ってください。

アップグレードに関して特定の疑問がある場合には、Extensis社のサポートページをお読みください (<http://www.extensis.com/support/>)。Portfolio Knowledgebaseでの検索や、ユーザーフォーラム、テクニカルサポート情報をお読みいただけます（英語）。

バックアップ

既存のカタログやNetPublishサイトは、アップグレードを実行する前に必ずバックアップしておきます。Portfolio Serverを停止して、以下のフォルダをバックアップします。

Portfolio 9 データのバックアップ

Windows上で利用しているPortfolio Serverのバックアップ:

- **カタログ:**C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\Catalogs\
- **NetPublish サイト:**C:\Program Files\Extensis\Portfolio NetPublish Server\WebRoot\sites\

Mac OS X上で利用しているPortfolio Serverのバックアップ:

- **カタログ:**/アプリケーション/Extensis/Portfolio Server/applications/native-server/Catalogs/
- **NetPublish サイト:**/アプリケーション/Extensis/Portfolio NetPublish Server/WebRoot/sites/

Portfolio 8.5 データのバックアップ

Windows上で利用しているPortfolio Serverのバックアップ:

- **カタログ:**C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server 8.5\Catalogs\
- **NetPublish サイト:**C:\Program Files\Extensis\Portfolio NetPublish\WebRoot\sites\

Mac OS X上で利用しているPortfolio Serverのバックアップ:

- **カタログ:**/アプリケーション/Extensis Portfolio Server 8.5/Catalogs/
- **NetPublish サイト:**/アプリケーション/Portfolio NetPublish Server/WebRoot/sites/

Portfolio Server 8.5、またはそれ以前からのアップグレード

Portfolio Server 9以降では、「ユーザーベース」のカタログアクセスしかできません。Portfolio 8.5、またはそれ以前のカタログで「アクセスレベルベース」のカタログからのアップグレードを行う場合は、Portfolio Server Admin webインターフェイス内で、ユーザーアカウントを作成し、各カタログに対するメンバー設定を行う必要があります。

スタンドアロンからPortfolio Serverへのアップグレード

単体で利用していたPortfolioからアップグレードする場合は、Portfolio Server上にカタログを移行することができます。Portfolio Serverをインストールした後、既存のFDBファイルを以下の場所に置きます。

Windows サーバーの場合:

```
C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server 9.5\applications\native-server\Catalogs\
```

Mac OS X サーバーの場合:

```
/アプリケーション/Extensis/Portfolio Server 9.5/applications/native-server/Catalogs/
```

もしFDBファイルが既存のネットワーク場所から異なる場所へ移動された場合には（新規サーバーを導入した場合など）、Portfolioデスクトップクライアントを使って、オリジナルファイルへのパスをアップデートする必要があります。

ファイルパスを変更するには:

1. Portfolioデスクトップクライアントから、Portfolio Server が公開しているカタログに接続します。
2. オリジナルファイルのネットワーク場所を開きます。
3. Option キー (Mac) またはControl キー(Windows) を押しながら、最上位のフォルダをデスクトップクライアントのメインウィンドウにドラッグ&ドロップします。フォルダ内のすべてのファイルの場所がアップデートされます。カタログ内に登録されているすべてのオリジナル画像フォルダに対して、このステップを繰り返します。

フォルダ同期、オリジナル、プレビューファイルの置き場所のアップデート

Portfolio Server 9以降では、カタログ内のオートシンクフォルダをサポートしています。Portfolio 8.5（またはそれ以前）でフォルダ同期を利用している場合には、ネットワーク上でアクセスできる場所にオートシンクフォルダを再度作成する必要があります。Portfolioプレビューファイルやオリジナルファイルも新しい場所に移動する必要があります。

Portfolio Serverのシステムの必要条件

最新の情報は、Extensisのウェブサイトでご確認ください：

<http://www.extensis.com/en/support/documentation/?fs=/en/support/documentation/portfolio/>.

または国内販売代理店のサイトをご覧ください：

<http://www.swtoo.com/product/extensis/>

はじめにインストール

QuickTime

多くのビデオファイルの対応やその他の機能のために、Portfolio ServerではQuickTimeが必要です。特にWindowsの場合はデフォルトでインストールされていないため重要になります。Mac OS

Xの場合は、ソフトウェアアップデートを利用して、最新バージョンをインストールしてください。

QuickTimeのダウンロード: <http://www.apple.com/quicktime/download/>

ビデオファイルを取り扱わない場合でも、Portfolio Serverがファイルの種類を正しく見分けるためにQuickTimeのインストールを強くお勧めします。

注意: QuickTime Proは必要ありません。QuickTimeの基本バージョンに必要な機能が提供されます。

OpenOffice.org

いくつかのドキュメントフォーマット (Microsoft Word, Excel, PowerPoint) をカタログに登録するために、Portfolioをインストールする前に、OpenOffice.orgをインストールして起動しておく必要があります。

OpenOffice.orgのダウンロード: <http://download.openoffice.org/index.html>

OpenOffice.orgはPortfolio Serverで他のカタログファイルを登録する場合は必要ありません。Microsoft Officeのドキュメントを登録する場合は必ずインストールしてください。

Adobe DNG Converter

PortfolioはデジタルカメラのCamera RAWファイルをカタログ化できます。これらのファイルは一般的でないため、Adobeが開発したDNGファイルフォーマットに変換して広い範囲のアプリケーションで利用できるようにします。

Portfolio ServerにDNG Converterアプリケーション (無料) をインストールしておくと、PortfolioはCamera RawファイルをこのDNGにバッチ変換してくれます。

DNG Converterのダウンロード:

Macintosh:<http://www.adobe.com/support/downloads/product.jsp?product=106&platform=Macintosh>

Windows:<http://www.adobe.com/support/downloads/product.jsp?product=106&platform=Windows>

DNG ConverterはPortfolio Serverで必ずしも必要ではありません。インストールすると変換オプションが追加されます。

Macintoshユーザーの注意

OpenOffice.orgとDNG ConverterはPortfolio Serverと同じひとつのアカウント内にインストールして利用してください。

ファイアウォールのポートを開ける

サーバーと接続したいユーザーの間にファイアウォールがある場合は、Portfolio Serverとクライアントアプリケーション間でコミュニケーションするために、いくつかのポートを開ける必要があります。

- サーバー上にファイアウォールがある場合は、ネットワーク上の他のユーザーがアクセスできるようにポートを開けます。
- ローカルネットワークとインターネットの間にファイアウォールがある場合は、ネットワークの外部からアクセスできるようにポートを開けます。

ポート	説明
2903, 2904	デスクトップクライアント
8090	ウェブクライアント (JBoss HTTP/Web Service)
8091	サーバー管理 (Jetty Web App)

内部のPortfolio

Serverコミュニケーション用にさらにポートが必要です。必要なポートとポート競合の問題の解決については、*Portfolio Server Admin* ガイドを参照してください。

Portfolio Serverのインストール

もっとも良いパフォーマンスとシンプルさを実現するためには、Portfolio Serverをファイルサーバーにインストールしてください。

最新のPortfolio ServerインストーラはExtensisのウェブサイト <http://www.extensis.com/downloads/> からダウンロードすることができます。インストーラをサーバーのハードディスクにコピーしてから、インストーラをダブルクリックして起動し、画面の指示に従います。

サーバーソフトウェアがインストールされると、ウェブブラウザが開き、Portfolio Server Admin インターフェイスが開きます。サーバーの設定、ユーザーの追加、カタログの作成が行えます。

Windowsにインストール

Portfolio

Serverのインストールは簡単です。インストーラをダブルクリックして起動し、画面の指示に従います。

Windowsではインストールの途中で、ドメインユーザーアカウントか、ローカルシステムアカウントでインストールするか決めるように要求されます。

ドメインユーザーアカウントオプション

カタログに登録したいデータがネットワークボリューム上にある場合は、ドメインユーザーアカウントオプションを選択します。このオプションを選択するには、事前にドメインユーザーアカウントを作成し（できればPortfolio Server専用アカウント）、Portfolio

Serverのインストーラを実行する前にそのアクセスを設定する必要があります。ドメインアカウントを入力する場合、カタログに登録するファイルと、Portfolioが作成するプレビューファイルすべてに対して、アカウントは完全な読み/書きができる必要があります。このドメインアカウントは、またPortfolio Serverサービス (Portfolio Server、Portfolio Server

Admin) が起動しているアカウントになります。アカウントはローカルアドミニストレータグループのメンバーでなければなりません。これによってPortfolio Serverプログラムディレクトリとシステムファイルに対して全コントロールが可能になります。

さらに、ローカルセキュリティポリシーコンソール内で、ドメインユーザーアカウントは「サービスとしてログオン」特権を与えられる必要があります。詳しくは以下のページを参照してください。

[http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc739424\(WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc739424(WS.10).aspx)

ローカルシステムアカウントオプション

Portfolio

ServerがインストールされているWindows上に、カタログに登録するファイルがすべて含まれている場合には、ネットワークアクセス用にドメインユーザーアカウントを設定する必要はありません。単にローカルシステムオプションを選択します。

Macintoshへのインストール

Portfolio

Serverのインストールは簡単です。インストーラをダブルクリックして起動し、画面の指示に従います。

Macintoshにインストールする場合は、Portfolio

Serverはユーザーとして起動するので、インストール時にはそのユーザーでシステムにログインする必要があります。カタログに登録されるファイル（プレビューファイルも含む）のロケーションに対して、そのアカウントが完全な読み書きができる必要があります。リモート共有をマウントしている場合は、ログアウトしないでください。

Portfolio Serverがネットワーク上のファイルとプレビューにアクセスできるようにするには、Portfolio Serverがインストールされているシステムに共有がマウントされている必要があります。最適なパフォーマンスを得るには、Portfolio Serverをファイルサーバーと同じマシン上にインストールします。

注意:Macintosh上のPortfolioデスクトップクライアントから、他のMacintosh上のPortfolio Serverにアクセスするためには、サーバーがマウントしているものと同じネットワーク共有をデスクトップクライアントシステムもマウントする必要があります。これによってサーバーとクライアントの両方がアセットとプレビューへの同じパスを持つことになります。

Xsan users

Portfolio Serverはサーバーに接続している、いないにかかわらず、Xsan ボリューム上のファイルもカタログに登録できます。しかしカタログ登録とファイル検索のパフォーマンスは、サーバーがXsanボリュームに直接接続しているほうが向上します。

設定を続ける

インストールが完了すると、Portfolio Server Admin インターフェイスがウェブブラウザ上で開き、サーバーの設定を行えます。

デフォルトのサーバー管理者のユーザー名は **administrator**、パスワードは **password** に設定されています。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を識別します。

Portfolio Server Admin

Portfolio Server Adminを使って、自分のネットワーク上のどのコンピュータからでもPortfolio Serverの設定を変更することができます。

Portfolio Server Adminを開くには:

1. ウェブブラウザを開きます。
2. アドレス欄にサーバーのIPアドレス、コロンの後にポート番号を入力します。デフォルトのサーバー管理ポートは8091です。
入力例: `http://192.168.0.1:8091` または `http://localhost:8091`
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトでは、管理者ユーザー名は **administrator**、パスワードは **password** に設定されています。ユーザー名とパスワードは大文字小文字を識別します。

注意:**administrator**パスワードは変更してください。Portfolio Server Admin インターフェイスを開き、パネル左側の**ユーザー**をクリックします。**administrator**をクリックして、新しいパスワードを入力し確認した後、**適用**をクリックします。

シリアル番号を入力する

Portfolio Serverを使うには、Portfolio Server Admin Webインターフェイスからシリアル番号を入力する必要があります。

Portfolio Serverのシリアル番号を入れるには:

1. Portfolio Server Admin Webインターフェイスを開き **administrator**としてログインします。
2. **ライセンス**パネルが開いていない場合は、左側のパネルで**ライセンス**をクリックします。
3. ウィンドウの右下にある**[+]**ボタンをクリックしてライセンスを追加します。
4. Portfolio Serverのシリアル番号を入力して**ライセンスを追加**をクリックします。
ライセンスパネルには、Portfolio Server のバージョン番号とライセンス数が表示されます。

シリアル番号を入力すると、ボタンのラベルが設定と表示されます。このボタンをクリックすると、サーバーの設定の詳細のチェックリストを表示できます。

カタログを作成する

Portfolioカタログにはアセットの情報が全て納められます。カタログ内には実際のファイルは入りませんが、各ファイルのディスク上の場所を特定するパス情報が含まれます。

Portfolio カatalogを作成するには:

1. Portfolio Server Adminを開きます。
2. 左側のパネルで**カタログ**をクリックします。
3. カタログリスト内で **新規カタログを追加**をクリックします。
4. カタログの種類を決定します。
カタログ種類は **汎用**を選ぶとほとんどの目的で利用できます。
5. データベースの種類を決定します:
ネイティブ (FDB) - Portfolio Serverのデフォルトデータベース種類です。
SQL
6. カタログ名を入力します。
ウェブクライアントを利用してカタログファイルを利用する場合は、ファイルがアップロードできるように、すぐにオートシンクフォルダを作成することを考えてください。
照合する言語、プレビューについてのこの時点で設定することができますが、カタログを作成した後からでも設定が可能です。
7. **作成**をクリックします。

カタログのデフォルト

ユーザーのアクセスレベルなど、カタログの詳細の設定が可能です。Portfolio Serverヘルプ、またはPortfolio Server Adminガイドを参照してください。

ユーザーを追加する

Portfolio カタログにアクセスするにはユーザーはアカウントが必要です。サーバー管理者はPortfolio Server Adminからユーザーアカウントを作成して、カタログのメンバーにする必要があります。

新規ユーザーを追加するには:

1. Portfolio Server Admin Webインターフェイスに **administrator**としてログインします。
2. 左のパネル内で**ユーザー**をクリックします。
3. **新規ユーザーを追加**をクリックします。
4. 新規ユーザー情報を入力します:
 - アカウント名 -Portfolioにログインするユーザー名 (必須)
 - パスワード - このアカウントで利用するパスワード (必須)
 - パスワードの確認 - パスワードの再入力 (必須)
 - フルネーム - ユーザーの実際の名前 (オプション)
 - 電子メールアドレス -ユーザーに連絡の取れるメールアドレス (オプション)
 - メモ - このアカウントやユーザーについての情報を入力する場所 (オプション)
 - アクセス- ユーザーがデフォルトでアクセスできるカタログを設定できます。

ユーザーを全カタログに追加チェックボックスにチェックしてアクセスレベルを選択します。ここにチェックしない場合は、個別のカタログにユーザーを手動で追加します。
5. **作成**をクリックします。

Set Up the Desktop Client

デスクトップクライアントのインストール

Portfolioデスクトップクライアントを使うと、カタログ内の参照、検索、編集が可能です。デスクトップクライアントではさらに、オートシンクフォルダの作成、カスタムフィールド、マスターキーワードリストの作成など、カタログの管理が行えます。

Portfolioデスクトップクライアントをインストールする前に、ご利用になるコンピュータが必要なシステム要件を満たしていること、そして最新版のQuickTimeがインストールされていることを確認してください。

Extensisのウェブサイト <http://www.extensis.com/downloads/> からPortfolio

Serverをダウンロードします（ダウンロードファイルには、Portfolio

Server、デスクトップクライアント、NetPublish

Serverが含まれています）。デスクトップクライアントのインストーラをコンピュータにコピーして、インストーラをダブルクリックして起動します。後は画面の指示に従います。

注意: Mac OS

Xでは、起動しているすべての他のアプリケーションを終了してください。インストール完了後、コンピュータの再起動が必要になります。インストーラが完了するとインストーラがコンピュータを再起動する画面を表示します。

デスクトップクライアントからカタログを開く

デスクトップクライアントからカタログを開くためには、サーバーに接続する必要があります。

注意:外部のネットワークを経由してデスクトップクライアントからPortfolio

Serverに接続するためには、サーバーのファイアウォールの正しいポートが開いている必要があります。

[サーバーのファイアウォールポートを開く](#)、または *Portfolio Server Admin* ガイドを参照してください。

1. Portfolioデスクトップクライアントを起動します。
2. **ファイル > サーバー接続**を選びます。
3. **サーバーの追加**をクリックします。
4. サーバーを特定できるような名前をつけて、IPアドレスまたはPortfolio Serverのネットワーク名を入力して **OK**をクリックします。
サーバー名はどんな名前でも構いません。ネットワーク名やコンピュータ名と関連のない名前で大丈夫です。
5. サーバー接続画面で、サーバー名の横にある **【+】** アイコン（Macは三角形）をクリックすると、サーバーの持つカタログが表示されます。
6. カatalogを選択して **カタログを開く** をクリックします。
7. ユーザー名とパスワードを入力して **OK**をクリックします（管理者レベルの機能を利用する場合はカタログ管理者のユーザーとパスワードを入力してください）。

Open this catalog on

startup（起動時にこのカタログを開く）のチェックボックスにチェックを入れると、次回デスクトップクライアントを起動する際に、パスワードを入力する画面が開きこのカタログが開きます。

デスクトップクライアントインターフェイス

デスクトップクライアントには以下の主な画面があります:

- **ツールバー** -
ツールバーはデスクトップクライアントの上にあります。ここからクイック検索など主な機能にアクセスすることができます。必要なボタンを追加するなどカスタマイズが可能です。
- **ギャラリー** -
ギャラリーパネルはウィンドウの左側にあります。ギャラリーはカタログ内のアイテムの整理や表示をまとめるためのものです。ギャラリーパネルには、開いているカタログのギャラリーが表示されます。ギャラリーについての詳しい情報はデスクトップクライアントのヘルプから *Portfolio* デスクトップクライアント ユーザーガイドを参照してください。
- **フォルダパネル** -
フォルダパネルを使うとコンピュータやネットワーク上のフォルダに簡単にアクセスすることができます。またこのフォルダ内でオートシンクの設定を行えます。詳しい情報はデスクトップクライアントのヘルプから *Portfolio* デスクトップクライアント ユーザーガイドを参照してください。
注意: Mac OS Xでは、フォルダパネルはドロワーウィンドウで表示されます。Windowsでは、ギャラリーパネルと同様のパネルで表示されます。
- **メインウィンドウ** -
メインウィンドウには現在選択されているギャラリーやフォルダ内のアイテムが表示されます。アイテムをダブルクリックするとプレビューを表示できます。詳しい情報はデスクトップクライアントのヘルプから *Portfolio* デスクトップクライアント ユーザーガイドを参照してください。

デスクトップクライアント内の管理機能

Portfolio

デスクトップクライアントでは、カタログ管理者レベルのユーザーはいくつかの管理機能を利用することができます。

カタログ管理者アカウントでカタログを開くと、デフォルトでは発行者レベルのアクセスになっています。このアクセスだと以下の管理機能を利用できます:

- カatalogのキーワードの追加と削除
- カatalogを開くときの特定の*Portfolio*アクション設定
- 現在のカタログをカスタムカタログの種類として保存
- カatalog詳細オプションの設定 (サムネールのサイズやメタデータフィールドマッピング等)
- アイテムをカタログに登録する際に自動的に特定のフィールドにデフォルト値を入力

管理者レベル

アクセスレベルを発行者レベルから管理者レベルに変更すると、さらに多くの管理機能を利用できます。変更するにはデスクトップクライアントにカタログ管理者アカウントでログインする必要があります。

管理者レベルに変更すると、他のユーザーはカタログにアクセスできなくなります。すでに他のユーザーがカタログを開いている場合には、接続を解除する数分前に注意を促すことができます。

管理者レベルで入るには:

1. カatalog管理者の名前をパスワードを使ってカタログを開きます。
2. **カタログ > アクセス権のレベル**を選びます。
3. ポップアップメニューから **管理者**を選びます。
4. **OK**をクリックします。

もしカタログにアクセスしているユーザーがいる場合は、彼らに接続を解除してもらうために少し前にメッセージを表示させることができます。何分後に設定するかを数字を入力して **OK** をクリックするか、 **キャンセル** をクリックして元のアクセスレベルに戻ります。

管理者レベルでアクセスすると以下のことが行えます:

- オートシンクフォルダの作成、削除、管理
- カスタムフィールドおよび値一覧の作成、削除、管理
- マスターキーワードリストの管理
- フィールドデフォルト、メタデータ設定、カタログ詳細オプションなどのさらなる設定

さらに詳しい情報は、デスクトップクライアントのヘルプから *Portfolio* デスクトップクライアントユーザーガイドを参照してください。

その他

Portfolio デスクトップクライアントをインストールすると、OSレベルのショートカットメニュープラグインと Portfolio Express が同時にインストールされます。

ショートカットメニュープラグイン

Windows エクスプローラーまたは Mac OS X v

10.5 以上の Finder 上で選択したファイルまたはフォルダ上で右クリックすると、

Portfolio に追加というショートカットメニューが表示されます。サブメニューからすでに開いているカタログを選択するか **他のカタログ** を選びます。カタログを選択すると Portfolio デスクトップクライアントが起動して、選択したファイルが Portfolio カタログに追加されます。

注意: この機能を利用するにはカタログのユーザー名とパスワードが必要です。また **他のカタログ** を開く場合には、サーバー上のカタログに最初に接続する必要があります。

Portfolio Express

Portfolio

Express は非常に軽いアプリケーションで、起動し続けておくことができます。カタログ内のコンテンツの参照、検索、プレビューと、カタログ内のファイルを開くことができます。また Portfolio

Express のウィンドウからドラッグ&ドロップをサポートしているドキュメントにコンテンツをドラッグ&ドロップして取り込むこともできます。例えば作業中のドキュメントに画像を取り込む際に便利です。

Portfolio

Express はコンピュータにログインした際に自動的に起動し、自分で設定可能なホットキーを使ってウィンドウを表示/非表示にすることができます。

デスクトップクライアントの Portfolio Express についての詳細は

Portfolio デスクトップクライアントユーザーガイドを参照してください。

Set Up the Web Client

ウェブクライアントの設定

Portfolioウェブクライアントを利用するには、Flash Playerがインストールされた対応するウェブブラウザが必要です。最新バージョンのFirefox、Internet Explorer、Safariなどが対応ブラウザです。対応するブラウザの全リストはシステム要件を参照してください。

最新のFlash Playerのダウンロード: <http://www.adobe.com/flashplayer/>

もちろん、ウェブクライアントがPortfolio Serverにアクセスするためには、外部からのアクセスのために、サーバーファイアウォールの正しいポートが開いている必要があります。 [ファイアウォールのポートを開ける](#) および *Portfolio Server Admin ガイド* を参照してください。

ウェブクライアントユーザーもユーザーアカウントとカタログへのアクセス権が必要です。 [ユーザーを追加する](#) および *Portfolio Server Admin ガイド* を参照してください。

ウェブクライアントからカタログに接続する

Portfolio Serverに接続するには、Portfolio Server管理者からアクセス情報を入手してください。以下の情報が必要です:

- Portfolio Server IPアドレスまたはサーバー名
- Portfolio Serverポート番号
- ユーザー名
- パスワード

Portfolio Serverに接続するには:

1. 対応しているウェブブラウザを開きます。
2. アドレス欄にIPアドレスまたはサーバー名を入力し、続けてコロンとポート番号を入力します (Portfolio Serverのデフォルトのポート番号は8090です)。
入力例: `http://192.168.0.1:8090`または`http://servername:8090`
3. ドロップダウンメニューから言語を選びます。
4. ユーザー名とパスワードを入力して **ログイン**をクリックします。

ウェブクライアントインターフェイス

Portfolioウェブクライアントは主に4つのエリアに分かれています:

- **ツールバー** -
ウェブクライアントの上部にあります。ツールバーからは、ファイルのアップロード、ダウンロード、メインウィンドウの表示変更などにアクセスできます。
- **オーガナイザ** - 左側にあります。利用できるカタログが表示されています。
- **メインウィンドウ** -
ウェブクライアントの中央にあります。ここにはオーガナイザで選択したアイテムのサムネイルや他の情報が表示されたり、カタログの検索結果が表示されます。
- **アイテムプロパティ** -
右側にあります。ここにはメインウィンドウで選択されたアイテムのファイル情報やメタ情報が表示されます。多くのフィールドは直接このパネル内で編集が行えます。

一つのアイテムをプレビューしている場合は、インターフェイス全体がプレビューに置き換わります。他のアイテムのプレビューに切り替えたり、ほかのナビゲーションコントロールを利用する場合は、フィルムストリップから選択します。

ウェブクライアントの使い方の詳細は、ウェブクライアントツールバーにある**ヘルプ**をクリックするか、*Portfolio*ウェブクライアントユーザーガイドを参照してください。

Using Portfolio

アセットをカタログに登録する

アセットをカタログに登録する場合、アイテムをカタログに登録する、そして情報を追加する、という2つのステップがあります。

アセットをカタログに登録する

以下の3つの方法でアセットファイルをカタログに登録できます:

- デスクトップクライアントまたはウェブクライアントから手動で登録できます。カタログに登録したい一つまたは複数のアイテムを選択します。デスクトップクライアントではフォルダやディスク全体を登録することもできます。
- オートシンクフォルダを使って自動的に登録できます。Portfolioを使っていないユーザーでもオートシンクフォルダにアイテムを置くと、カタログに登録されます。
- Mac OS X FinderやWindows Explorerから、簡単に登録できます。カタログに登録したいファイルやフォルダを右クリックして、**Portfolio**に追加をショートカットメニューから選択し、登録するカタログを選びます（このオプションはPortfolioデスクトップクライアントをインストールしたコンピュータからのみ利用できます）。

カタログ管理者は、デスクトップクライアントユーザー用にカタログ作成オプションプリセットを設定できます。これによってアイテムに情報を自動的に追加したり、カタログに登録する際に情報入力の画面を開くように設定できます。

アセットに情報を追加する

カタログへの登録が完了したら、今度は、すばやく正しい画像やファイルを探す場合に鍵となる情報をタグとして追加します。

カタログ内のアイテムを特定する方法:

- **アイテムのサムネールとプレビュー** - 見た目で探すのが一番速い場合もあります。もちろん検索した結果から見た目で特定することもできます。高品質プレビューでこの作業も楽に実行できます。
- **テキストインデックス** - PDFやWord、PowerPoint書類内のテキストをインデックス化します（英語のみ）。特定の単語を含むファイルを検索することができます。
- **キーワード** - キーワードを利用することによって、ファイルや画像がどこにあるのかの特定が簡単になります。例えば「契約書」というキーワードをすべてのWordの契約書につけておいたり、ファッション写真に「女性」というキーワードをつけたりします。
- **カスタムフィールド** - 例えば作者名やイベント名など、ワークフロー上で特定の利用ができる情報を追加できます。
- **ファイルメタデータ** - デジタルカメラで撮影したファイルにはカメラモデルや撮影日、撮影時の設定、または撮影場所の情報が含まれています。多くのアプリケーションでは、作者名やコピーライトなどの情報を埋め込む機能を持っています。Portfolioではカタログに登録する際にこれらすべての情報を自動的に取り込むことができます。お使いのアプリケーションやデバイスがどのような情報を埋め込む設定になっているのか確認しておく役立ちます。

編集者権限でカタログを使うユーザーは、デスクトップクライアントやウェブクライアントから、アセットの情報を入力したり編集することができます。

カタログ管理者は、デスクトップクライアントからカスタムフィールドを作成したり、マスターキーワードを設定することができます。

カタログ作成オプションでは自動的にアセット情報を含む設定が行えます。またはユーザーが特定の情報を追加できるように表示することもできます。詳細はデスクトップクライアントのオンラインヘルプか、*Portfolio* デスクトップクライアントユーザーガイドを参照してください。

アセットにアクセスする

デジタルアセットをカタログに登録したら、例えば、ドキュメント用に変換したり、プレゼンテーションに画像を探したり、様々な目的でアセットにアクセスするようになるでしょう。

カタログに登録されているアセットにはデスクトップクライアントまたはウェブクライアントからアクセスすることができます。デスクトップクライアントにはファイルを編集するより多くの機能が用意されています。ウェブクライアントではアセットを自分のコンピュータにダウンロードすることができます。

ウェブクライアントからアセットをダウンロードする

Portfolioウェブクライアントでアセットをダウンロードする場合は、ダウンロード時間を短縮するために圧縮ファイル（ZIP）として用意します。ZIPファイルはWindows Explorer やMac OS X Finderで直接解凍できます。

ファイルをダウンロードするには:

1. ダウンロードしたいファイルを選択します。
2. ツールバーの**ダウンロード**をクリックします。
3. Portfolio ServerはダウンロードファイルをZIPファイルで準備し、今すぐダウンロードするか後で行うかを選択する画面を表示します。 **OK**をクリックするとダウンロードが開始されます。

キャンセルをクリックすると、圧縮されたファイルは「ジョブ」として保存され、後からダウンロードすることができます。

4. Portfolio ServerでZIPファイルを用意できたら、保存場所の画面が表示されます。保存したい場所を選択して、必要であればファイル名を変更し、**保存**をクリックします。
注意:ファイルが開けなくなりますので、ZIPファイルの拡張子を変更しないように注意してください。

ファイルダウンロードが完了したら圧縮を解凍して利用します。

さらに詳細の情報はウェブクライアントの **ヘルプ** または *Portfolio* ウェブクライアントユーザーガイドを参照してください。

デスクトップクライアントからアセットを探す

Portfolioデスクトップクライアントから、アセットファイルに対して様々なことが実行できます:

- オリジナルファイルの編集
- ファイルのコピー
- 異なるフォーマットへの変換
- 他のアプリケーションへのドラッグ

ファイルを編集するには:

1. いずれかのギャラリー内でアイテムを選択します。
2. **Command-E** (Mac) または**Control-E** (Windows)を押します。

Portfolioは編集アプリケーションを起動して、選択したファイルをそのアプリケーションで開きます。もし作成したアプリケーションが不明の場合は、Portfolioは開くアプリケーションを特定するよう表示します。

ファイルをコピーするには:

1. いずれかのギャラリー内で一つまたは複数のアイテムを選択します。
2. **アイテム> オリジナルファイルの操作> コピー**を選択します。
3. コピーを作成したい場所を選んで **選択** (Mac) または**OK** (Windows)をクリックします。

Portfolioは、オリジナルファイルはそのままに、選択したフォルダにファイルをコピーします。

ファイルを変換するには:

1. いずれかのギャラリー内で変換したいアイテムを選択します。
2. **アイテム> 画像の一括変換**を選択します。
3. 変換したいファイル形式を選択します。
4. その他の変換設定を行います:
 - JPEGファイルの場合は、設定をクリックして圧縮レベルを設定します。
 - カラーモードを選択します。
 - 変換後の解像度を設定します。
 - サイズ変更と切抜きの設定をします。
5. 新しい画像を保存する場所を指定します:
 - **ファイルの保存場所を尋ねるダイアログボックスを表示する - 変換**をクリックした後、ディレクトリを指定する画面が開きます。
 - **オリジナルファイルを新規ファイルで置換する -**
変換後のファイルでオリジナルファイルを置き換えます。 **注意**
このオプションを選択するとオリジナルファイルは失われます。
 - **オリジナルと同じフォルダ内 -**
オリジナルファイルと同じ名前になる場合は、ファイル名の最後に数字が追加されます;例
"karate.tif" は "karate1.tif"
6. 新規画像をカタログに追加するかどうかを指定します。
7. **変換**をクリックします。

変換作業はPortfolio Serverで実行されます。

他のアプリケーションへドラッグする

Portfolioで管理している画像を、他のアプリケーションで利用する場面も出てきます。上記で説明したようなオリジナルファイルの編集以外にも、Portfolioのギャラリーから、他のアプリケーションで開いているドキュメントにアイテムをドラッグして配置することもできます。

例えば:

- PortfolioギャラリーのサムネールをWordドキュメントにドラッグして画像のコピーを配置する
- メール内にドラッグして添付ファイルにする
- アプリケーションアイコンにサムネールをドラッグしてそのアプリケーションでオリジナルファイルを開く
- サムネールをフォルダにドラッグしてファイルのコピーを作成する

アセットを管理する

デジタルアセットの管理方法やテクニックはいくつかあります。この項目についての詳細はExtensis社のウェブサイト http://www.extensis.com/en/downloads/document_download.jsp?docId=4000037 から、*Digital Asset Management Best Practices Guide* (デジタルアセット管理活用ガイド) を参照してください。

主なアセット管理方法には以下のものがあります:

- **複数のカタログを利用する** カタログ化されたアセットには誰がアクセスしたいのか、が重要です。特定のアセットにアクセスしたいユーザーのみが、そのカタログへアクセスできればよいからです。 **注意** Portfolio Serverのライセンスによって、同時に開けるカタログ数に制限があります。この場合他のカタログを開く前に、現在開いているカタログを閉じてください。
- **ギャラリーを有効活用する**
ギャラリーを利用すると、カタログ内アセットのサブセットにすばやくアクセスできます。しかしギャラリーを有効活用するには、ユーザーが使いやすいように設定する必要があります。「1」という名前のギャラリーでは役に立たないかもしれません。「写真」というギャラリーの方が中身を推測できます。
- **プライベート（非公開）ギャラリーを使う**
プライベート（非公開）ギャラリーは、ギャラリーを作成した本人しか見ることのできないギャラリーです。他の人には役に立たない分類方法でも、自分だけにわかる方法で整理したい場合にはこちらを利用します。
- **ファイルサーバーにファイルを置く**
ローカルコンピュータ上や、様々なネットワーク上にアセット自体が散在していると、カタログで管理することはできますが、管理自体は難しくなります。デジタルアセットは重要でかけがえのないデータですので、バックアップも定期的に行います。ファイルをファイルサーバーに常に置いておくようにすると、バックアップ作業もシンプルになります。

連絡先

Extensis

1800 SW First Avenue
Suite 500
Portland, OR 97201
電話（無料）：(800) 796-9798
電話: (503) 274-2020
Fax: (503) 274-0530
Web: <http://www.extensis.com>

Extensis ヨーロッパ

Suites 17 &18, Newton House
Northampton Science Park
Kings Park Road, Moulton Park
Northampton
NN3 6LG
United Kingdom
電話: +44 (0)1604 654 270
Fax: +44 (0)1604 654 268
Email: info@extensis.co.uk

カスタマーサービス

Web: <http://www.extensis.com/customerservice/>
パッケージ内の案内をご覧ください。

ドキュメントについてのお問い合わせ

Web: <http://www.extensis.com/helpfeedback/>

もしくは国内販売代理店までお問い合わせください。

技術サポート

技術サポートにご連絡いただく場合は、次の情報をご用意ください。

- お客様のシリアル番号
- お客様のコンピュータの設定(オペレーティングシステム、メモリ、ハードディスクドライブ、コンフィギュレーションなど)
- ご質問、または問題の説明(何がどういつきに起こったのかを具体的に)
- 電話番号(担当者からお客様への電話を希望される場合)

さらに、表示されたエラー番号またはメッセージおよび、関連するかもしれないと思われるその他の情報を書き留めておいてください。

よくある質問とその答え、トラブルシューティングのヒントについては、次のアドレスからExtensisのWebサイトをご利用ください。 <http://www.extensis.com/>

電話によるサポート

北米では、(503) 274-7030にご連絡ください。

ヨーロッパでは、+44 (0) 1604-654-270にご連絡ください。

日本国内では、製品パッケージに同梱されている案内をご覧ください。